

## I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

### 戦後文化資料等展示事業（予算額：約3079万円）

沖縄市は個性的な戦後史を歩み、ユニークな歴史文化を育んできました。この歴史文化をまちづくりに活かそうと、「沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート（以下、ヒストリート）」を平成30年8月8日にパルミラ通りからコザ・ゲート通りへ移転、リニューアルオープンしました。ヒストリートでは、戦後沖縄市の歩みを紹介した常設展と企画展（年に数回）を開催するとともに、戦後情報誌「KOZA BUNKA BOX」やヒストリートのガイドブック等により沖縄市の戦後歴史文化情報を発信し、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を中心市街地に誘客し、活性化を図ります。



## I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

### 平和行政推進事業 (予算額：約1767万円)

沖縄戦の悲惨な体験や教訓を風化させることなく、後世に平和な未来を受け継ぐために以下の取り組みを行います。

- ・『平和』をテーマに写真を募集する「市民の眼・平和写真展」
- ・市内各中学校から推薦された中学生17名と公募によって選ばれた社会人3名を平和大使として認定する「平和大使研修」
- ・市民団体等と共に実施する「平和月間企画展（8月1日から9月7日まで）」
- ・沖縄戦への理解を深めるため、県内市町村と開催する「おきなわピースフェスタ2019」
- ・平和大使の活動やイベント等を通して平和を発信する「沖縄市民平和の日記念行事（9月7日）」
- ・平和について学ぶ座学や、市内の戦跡等をガイドと共に巡る「市民平和講座」
- ・沖縄市平和イメージキャラクターソテツの妖精『キューナ』による地域や学校等への平和発信活動



## I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

### 文化芸能推進事業 (予算額：約4148万円)

市民に文化芸能にふれる機会を提供することにより、個性豊かな市民文化を高めるための事業です。

文化芸能に対する関心や理解を深め、地域の文化振興を図るため、個性豊かな芸能などを紹介する

「おきなわ芸能フェスティバル」などのイベントを開催します。

また、市民が企画・運営する舞台公演などの文化芸能活動を支援しています。



### 図書館機能充実事業 (予算額：約4000万円)

沖縄市立図書館については、移転開館して3年目を迎え、多くの市民の皆さまに利用いただいております。今後さらに資料の充実を図り、生涯学習や文化交流の場として利用しやすい図書館にしていきます。

また、新しい車両になった移動図書館ちえぞう君も図書館から離れた地域を巡回し、市内全域での読書環境づくりに取り組んでいきます。

